

## 校長あいさつ

本校では、中学校の三年間で、生涯をたくましく生き抜く力強さと、感動に涙する優しさを培っていきたいと考えます。また、この三年間は、自分自身の人格がつけられる時期でもあります。子どもたちには、毎日毎日を常に前向きな気持ちで生活をして、真の生きる力を身につけてほしいと願っています。その意味からも、本校は長年に渡り「凡事徹底」を校是とし、教育活動の充実に取り組んでいるところです。「凡事徹底」とは、「人として当たり前で平凡な事でも、それを徹底して継続することによって、非凡な結果、つまり優れた成果が得られる」という意味です。非凡なことというのは、何も特別なことをするのではなく、誰にでもできる簡単なこと、単調なことを、誰にもできないほど繰り返すということが非凡であると考えます。

大原中学校では、全校生徒・全職員がこの『凡事徹底』という共通の価値観で結ばれています。

具体的には、「時間を守るということ、掃除で汗をかくこと、自らゴミを拾い、学校をきれいにすること、履き物を揃えること、席を立ったらイスを入れること、「ハイ！」とはっきりと返事をする、自分から進んで笑顔の挨拶をすること、人の話をしっかりと聞くこと」といったことになります。これらの基本ができる人は、きっと幸せになる人だと信じています。なぜなら、幸せになる人というのは、よく気づく人だと思うからです。掃除をしていると細かな汚れなどによく気が付きます。だから掃除をすると、人生においても様々なことによく気が付くようになるのです。

さらには、「簡単なこと」「単純なこと」「単調なこと」を徹底して続けていると、平凡の中から生まれてくる非凡が、いつかは人を感動させる大きな力になると思うからです。「一つ光る みな光る 何もかも光る」そして「一人光る みな光る 誰も彼も光る」と私は信じています。「一つのことができれば、いずれすべてのことができる」「一人が輝けば、皆がそれにつられ輝きあう」ようになってほしいと考えます。

凡事徹底の取り組みの結果、大原中学校の生徒には、人やものを大切にする豊かで広い心と、弱い自分に負けない自律心が少しずつ育ってきていると感じます。また、中学校の3年間、面倒くさいことから逃げず、毎日続けることによって、人としての底力が身につくとも考えます。

凡事徹底を通して、何事も本気で取り組み、楽しく豊かに学び、挨拶や感動で響きあう学校になるようがんばってまいります。

小郡市立大原中学校長 柴田 美由紀